

おりもとだより

2025年
秋号
vol.56



豊中 織元®

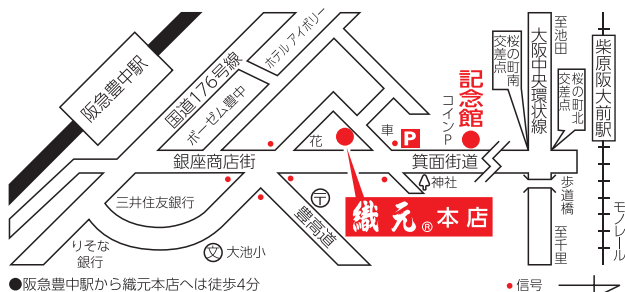
黄纈纈の林は寒うして葉あり

碧瑠璃の水は浄うして風なし (白居易)

色づく秋の木々の艶やかさがパッと目に浮かんで
どこまでも澄んで深淵な湖面に吸い込まれるような気持ち
になります

古の詩聖の眼にはどんな絞り染の色の裂が浮かんたので
しょうか？

葉の一枚一枚 空の色 雲の色 流れる水の色も
田畑の様子 あらゆる色が日々移りゆく中で きものや帯
帯揚げや帯締めにも気分を色に託して楽しみたい季節です



〒560-0021 豊中市本町4-1-8 TEL 06-6849-5298 (代) FAX 06-6852-1021
<http://www.orimoto-t.co.jp>



女性らしい桜色の量し小紋
荒川眞理子作「はっぱ」
甘やかな装い



深い青緑の百亀甲本結城
柔らかくて軽い最高の着心地
大変貴重になってしまいました
浅岡明美の帯で都会的に



艶ます卵色に割り付け文様の
染め抜かれた雪輪の小紋
更紗の染め帯で軽妙に



お顔映りのよい緑青色に
短冊に草花を表した
クラシカルな小紋
上質な洒落袋帯で



織元オリジナル小紋
カーニバル文様に心弾みます
正倉院獅子狩文様の帯も
特別に織ってもらいました

七五三おめでとうございます



姉妹で色違いのお着物を
織元さんがお勧めくださり
嬉しく思っています
十三参りや卒業式にも
着せる事が出来るようお仕立ていただき
これからもとても楽しみです



冴え冴えとした青紫の付下げ
格調高く優美な道長取り文様
お慶びのお席やお茶会へ

匂い立つ大人ピンクに
雅な和楽器の付下げ
観劇や同窓会に



きものと出逢いと



お客様から

織元さんとは祖母の代からの付き合いで
私自身の七五三もお世話になっております
このたび京都の友禅職人によって手描きの技法で霞を表現した訪問着に
正倉院文様を取り合わせたエキゾチックな袋帯をおすすめいただきました
襟元のほのかな金の霞に金の帯と私の個性に合わせたお見立ては お見事！
私の大切な故郷宝塚での観劇に素敵に花を添えていただきました

初めての方、お子様也大歓迎 『喫茶去』のご案内

三疊台目の茶室
「無端庵」での茶道体験
ゆったりと心落ち着く空間で一服
肩肘はらずにお茶の世界へ
お着物でご参加いただけると
幸いです

10月30日(木)
11月1日(土)
11時～ 13時半～ 15時半～
参加費1,500円 要予約



おしゃれな羽織でおでかけ



半衿付のお悩みにお答えします

プロが教える衿付けのコツ
参加費1,500円 要予約
お電話にてお問い合わせください

織元
着方教室

受講料 6,000円／4回
ところ 織元記念館
とき 毎週木曜日・土曜日
・10時～12時・14時～16時



orimoto.toyonaka

